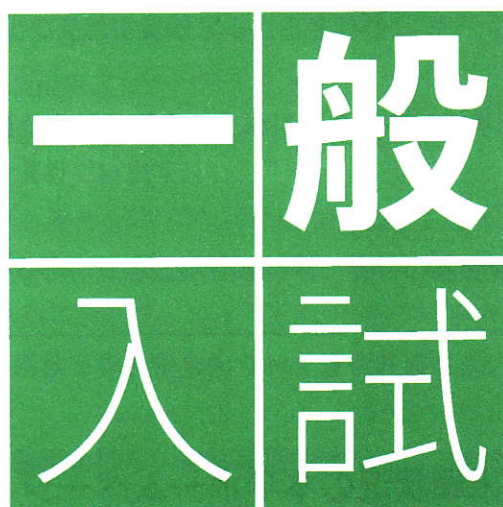


愛知県立芸術大学 学生募集要項



平成 **23** 年度

出願期間：平成 23 年 1 月 24 日（月）～2 月 2 日（水）

（最終日の午後 5 時までに郵便で必着とします。）

試験期日：美術学部（後期日程）

平成 23 年 3 月 12 日（土）～3 月 19 日（土）

音楽学部（後期日程）

平成 23 年 3 月 7 日（月）～3 月 13 日（日）

出願状況の本学ホームページ

下記の期間中本学ホームページに掲載しますのでご覧ください。

記

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | 日時 | 平成 23 年 1 月 24 日（月）午後 5 時から
平成 23 年 2 月 3 日（木）午後 3 時まで |
| 2 | URL | http://www.aichi-fam-u.ac.jp/ |

愛知県立芸術大学アドミッション・ポリシー

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また愛知が生んだ芸術文化の拠点として国際的に開かれた芸術文化の核となることを目指し、次の三つの理念をかかげます。

- 1) 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化にたずさわる優れた人材の育成を目指します。
- 2) 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指します。
- 3) 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指します。

その理念と目的に適う人材の育成のために、それぞれの専門分野にふさわしい資質をもつ次のような学生を求めています。

- 芸術を創作・研究する強い意志と感性を持ち、実技の基礎能力がある人。
- 美術界、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人。
- 広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人。

●美術学部のアドミッション・ポリシー

美術学部は、美術科、デザイン・工芸科の二つで構成されていますが、両科とも美術に対する目的意識と意欲のある学生を求めています。自らの表現は個性と共に確実な技術と理論に裏打ちされたものでなければなりません。自己表現をもって地域や国際社会に関わり、貢献する気概のある人を求めています。人に感動を与えられる美術・芸術表現は毎日の自己研鑽の蓄積から生まれるものです。

◆日本画専攻

日本画における絵画表現は伝統的なものであり、学部4年間を通して技法や材料の扱い方を習得し、発展させる為の基礎を養うことで専門の作家として創作活動を行っていくことが出来る人材を求めています。

○日本画の材料や技法の基礎に基づき、意欲的に作品制作が出来る人。

○自然に対する観察力・洞察力を幅広く持ち、日本画の基礎を勉強する意志のある人。

◆油画専攻

油画専攻では1、2年次において絵画を中心にカリキュラムを組んでいます。3、4年次では、より深く絵画表現を追求することを中心に据えながら、絵画の範疇に属さない表現の指導も行われています。以上のプロセスを通して美術への深い理解と独自の表現を確立する強い意志をもつ人材を求めています。

○美術に強い関心と探究心をもっている人。

○造形に関する基礎的表現力を有し、それをさらに大学で深めようとする人。

○作品制作に励み、かつ自己表現を追求する努力を惜しまない人。

◆彫刻専攻

彫刻専攻は、国境を越えて展開される様々な造形表現を睨みながら、実技・理論双方に対応できる教育を目指しています。カリキュラムに沿った基礎訓練と応用・展開のプログラムの上に、創造性に満ちた研究を自ら進んで展開することが出来る学生を求めています。

○自己管理能力と協調性をあわせ持つ人。

○不得意とする事柄に対してまっすぐ立ち向かう強い意志と、忍耐力、持久力、体力のある人。

○先入観に拠らず、自身の考えに対して絶えず異なった観点からの問いを發し、自身の創作によってその答えを模索しようとする人。

○上記のことを含めた意味で、“美術”が好きな人。

◆芸術学専攻

芸術学専攻は、少人数制を生かし、フェイス・トゥ・フェイスの密度の高い指導を通じて、高度な専門家——美術史・美術理論の研究者、学芸員、美術評論家、美術ジャーナリスト、アート・マネジメントや文化財保存の専門家等——の養成を目標として、次のような学生を求めています。

- 美術作品の鑑賞や制作に強い意欲と関心を持っている人。
- 美術史、現代アート論、美学、文化財学等に関心の高い人。
- 柔軟な感性と論理的な思考力を持ち、語学力にも優れている人。

◆デザイン専攻

デザインは、人の生活を創造性豊かに導き、快適で美しく、心地よいモノ、場、空間、情報等を、時代をふまえて社会に提案する研究領域です。求める人物像は次の通りです。

- 自ら学び、考え、よりよく問題を解決しようとするチャレンジ精神旺盛な人。
- 創造力、探求心、発想力が豊かな人。
- 将来に渡ってデザインの世界にかかわる意志を持った人。

◆陶磁専攻

陶磁専攻には陶芸と陶磁器デザインの二つのコースがあり、学部3年生から専門的に学んでいきますが、専攻全体としては基本的な造形力、発想力、描写力、構成力を身につける為の一貫したカリキュラムが組まれています。その理念と目的に合う人材育成の為に次のような資質をもつ学生を求めています。

- 日常生活に関わる陶磁器に関心があり向学心旺盛な人。
- 自分の思いをかたちにしていく創作意欲のある人。
- 陶磁素材の可能性と表現を探究する意欲のある人。

●美術学部のディプロマ・ポリシー

美術学部では創造力豊かな芸術、デザイン、芸術教育等の各分野で幅広く活動を行い、地域や国際社会の文化・芸術に寄与する人材を輩出することを目的としています。そのために基礎段階から少人数のクラス編成で学生と教員が密接な関係を築き、各種の表現技法や個性の尊重を基本として指導を行っています。また、専門の研究領域に入ってから、より各人の持つ世界観や美意識を大切にして指導しています。こうした教育方針の集大成として4年次に卒業制作、卒業論文を課し、磨かれた感性、深められた知識、鍛えられた技術等を総合的に評価し、将来の展開に寄与する糧となるように卒業判定を行っています。
※上記学習内容を習得し、所定卒業単位の取得と卒業制作、卒業論文等により学位を授与します。

●音楽学部のアドミッション・ポリシー

豊かな感性と際立った個性、理論と技術の良好なバランス等をそなえ、音楽表現意欲が旺盛な学生を求めています。又、将来、この地域はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動の展開を目指すような、高邁且つ明確な目的意識と強い気概をもった学生を望んでいます。磨かれた感性、整えられた知識、練られた技術が感動を生み出します。

◆作曲専攻(作曲)

作曲家、指揮者、演奏家、教育者等、創作能力を生かした活動を通して、社会に貢献し得る人材の育成を目指し、以下の点に留意した入学選抜を行います。

- 創作研究に対する、謙虚且つ積極的な姿勢を持っている人。
- 感性、知性、表現力、独創性、柔軟性、好奇心、国際性等を持っている人。
- 音楽の創作において必要な基礎的能力を身に付けている人。

◆作曲専攻(音楽学)

音楽学コースは音楽に関する研究活動に携わる人材の育成をめざし、以下の点に留意した入学選抜を行います。

- 音楽に対する知的好奇心をもっている人。
- 音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人。
- 芸術に対する豊かな感受性をもっている人。

◆声楽専攻

演奏家、教育者、合唱指揮者(研究者)等として、広く社会に貢献し得る人材を育成します。そのために以下のような点に留意して入学選抜を行います。

- 豊かな感受性、想像力を備えている人。
- 演奏家としての資質を備えている人。
- 積極的に学び、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人。

◆器楽専攻(ピアノ)

充実した実技個人レッスンにより、高度な音楽性の醸成と演奏技術の向上をめざしています。

学生の自主性、自発的な取り組みを重視し、一人一人が音楽芸術に対する見識を養うことをめざしています。

ピアノ演奏の基本的素養をより確実に捉えつつ、応用力を涵養し、演奏・研究・教育活動における様々な音楽的局面に対処できる能力の育成をめざしています。

次のような学生を求めています。

- ピアノに取り組む適性と意志を持ち、実技の基礎能力がある人。
- 広い視野と多様な価値観を持ち、意欲が持続する人。
- ピアノ演奏を通して音楽芸術全般に積極的に関与したい人。

◆器楽専攻(弦楽器)

演奏家、教育者等、広く社会に貢献し得る人材の育成をします。そのために以下のような点に留意し入学選抜を行います。

- 豊かな感受性、想像力を備えている人。
- 演奏家としての資質を備えている人。
- 将来音楽界、芸術教育界を担うべく意欲旺盛な人。

◆器楽専攻(管打楽器)

ソリスト・室内楽奏者・オーケストラ奏者等の演奏活動、また教育者・指導者としての活動を通じて広く社会貢献し得る人材の育成をめざし、以下の点に留意して入学選抜を行います。

- 豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人。
- 協調性、適応能力に優れた人。
- 物事への積極性、また国際性を備えている人。

●音楽学部のディプロマ・ポリシー

音楽学部では確かな演奏技術や音楽作品を創作するための表現技法、音楽の学問的研究等、それぞれの学生が豊かな感性を養うと同時に、表現技術を習得出来るよう、学部 1 年次から個人レッスンを中心とした基礎教育を行っています。3、4 年次には将来の幅広い活動を支えるだけの応用力を養うべく、各専攻で様々な実践的カリキュラムが組まれています。又、4 年次には創作、研究、演奏の成果を卒業作品、卒業論文、卒業演奏の発表によって評価し、国際的視野に立った芸術・研究活動の展開を目指すような、明確な目的意識と強い気概、実力を伴った人間性豊かな学生が育つことを望んでいます。

※上記学習内容を習得し、所定卒業単位の取得と卒業作品・卒業論文・卒業演奏等により学位を授与します。

愛知県立芸術大学学生募集要項

1 募 集 人 員

学部	学 科	専攻（コース）		入学定員	募集人員	備 考
美術学部	美 術 科	日 本 画		10	10	社会人特別入試募集人員若干名を含む。
		油 画		25	25	社会人特別入試募集人員若干名を含む。
		彫 刻		10	8	社会人特別入試募集人員若干名を含む。 自己推薦特別入試募集人員 2 名
		芸 術 学		5	4	社会人特別入試募集人員 1 名
	デザイン・工芸科	デ ザ イ ン		35	25	社会人特別入試募集人員若干名を含む。 自己推薦特別入試募集人員 10 名
		陶 磁		10	10	社会人特別入試募集人員若干名を含む。
	計			95	82	
音楽学部	音 楽 科	作 曲	作 曲	8	8	推薦特別入試募集人員若干名を含む。
			音 楽 学	2	2	推薦特別入試募集人員若干名を含む。
		声 楽		30	30	ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、 テノール、バリトン、バス 推薦特別入試募集人員若干名を含む。
		器	ピ ア ノ	25	25	
			弦 楽 器	15	15	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、 コントラバス、ハープ 推薦特別入試募集人員若干名を含む。
		楽	管打楽器	20	20	フルート、オーボエ、クラリネット、 バスーン(ファゴット)、サクソフォーン、 ホルン、トランペット、トロンボーン、 バストロンボーン、ユーフォニアム、 チューバ、打楽器 推薦特別入試募集人員若干名を含む。
		計			100	100

2 出 願 資 格

本学に出願できる者は、平成 23 年度大学入試センター試験において本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成 23 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 23 年 3 月修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 23 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 23 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 23 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

注：外国人留学生は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）」において、大学入学に支障のない在留資格を取得してください。

私費外国人留学生は、大学入試センター試験を受験する必要はありませんが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を次のとおり受験してください。

「日本留学試験」

- ①美術学部については、「日本語」と「総合科目」を、音楽学部については、「日本語」と「総合科目」を受験するか、「日本語」と「数学（コース 1）」を受験してください。
- ②「総合科目」、「数学（コース 1）」については、日本語による問題を受験してください。
- ③平成 22 年 6 月実施・11 月実施のいずれの試験を受験してもかまいません。
- ④渡日前の入学許可は行いません。（外国において本学の入学者選抜は行いません。）

参考：独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課

〒153 - 8503 東京都目黒区駒場 4 - 5 - 29 電話（03）6407 - 7457（直通）

3 出 願 期 間

平成 23 年 1 月 24 日(月)から 2 月 2 日(水)まで（最終日の午後 5 時までに郵便で必着とします。）

4 出 願 方 法

- (1) 出願書類は、必ず本学所定の封筒（志望専攻・コース名を○で囲むこと。）を用い書留郵便で郵送してください。普通郵便及び直接持参は受理しません。
- (2) 出願期間を経過したものは受理しませんので、郵便事情を考慮して早めに郵送することが望ましい。

5 出 願 書 類

書 類 等		摘 要
入 学 願 書 受 験 票 受 験 者 写 真 票	○	1 本要項に添付の OCR 用紙に必要事項を記入してください。 2 記入はすべて黒のボールペンを使用し、楷書で丁寧に記入してください。 3 受験票、受験者写真票には、正面、上半身、脱帽で出願前 3 ヶ月以内に撮影した同一の写真（縦 4cm×横 3cm）を所定の位置に貼付してください。
調 査 書		1 出身学校長が作成し、厳封したものにしてください。 2 廃校、被災等により調査書の作成ができないときは、これに代わるべき機関による適宜の証明で調査書に代えることができます。 3 高等学校卒業程度認定試験に合格した者については、その試験の合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も提出してください。 4 私費外国人留学生については、次の①②を提出してください。 ①小学校入学から最終出身学校までの学歴を記載したもの ②最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書 （①②とも日本語訳を添付してください。）
成 績 通 知 書 (私費外国人留学生のみ)		私費外国人留学生は、「平成 22 年度日本留学試験 第 1 回(6 月実施分)」または「平成 22 年度日本留学試験 第 2 回(11 月実施分)」の成績通知書の写しを提出してください。

入 学 検 定 料 17,000 円	○ *	1 入学検定料は、振込依頼書により平成 23 年 1 月 17 日（月）以降に必ず 金融機関の窓口 から入金してください。ATM からは入金しないでください。 2 検定料納付証明書は検定料納付証明書貼付欄に貼付してください。 3 振込依頼書の「 ご依頼人 」欄は 受験生本人の氏名 を記入してください。
受 験 票 送 付 用 封 筒	○	「受験票在中」と表示してある本学所定の長形 3 号封筒に志願者の受信地住所・氏名・郵便番号を記入し、350 円分の切手を貼付してください。
住 所 シ ー ル	○	本学所定の用紙に、志願者の受信地住所・氏名・郵便番号を明記してください。（合格通知書等の送付時に使用しますので、確実に本人に届く住所を記入してください。）
大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 成 績 請 求 票		1 出願する学部の日程に従った平成 23 年度大学入試センター試験成績請求票（ 後期日程用 ）を、入学願書の所定の欄に貼付してください。 2 成績請求票を間違えて貼付した場合は、 無効となりますから注意 してください。
専 攻 別 提 出 用 紙 （音楽学部のみ）	○	音楽学部作曲専攻（音楽学）、声楽専攻、器楽専攻（ピアノ、弦楽器、管打楽器（オーボエのみ））の志願者は、音楽学部個別学力検査（課題曲）を参照し、提出してください。 声楽専攻志願者は、楽譜も提出してください。

○印は、募集要項にとじ込みの本学所定様式です。

*願書を受理した後は、既納の検定料は還付しません。

ただし、個別学力検査出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合は、13,000 円を還付します。

還付される場合については、「債権者登録申請書兼返還請求書」を発送しますので、返還の手続を行ってください。

6 学部別試験日程及び成績請求票種別

学 部	試 験 日 程	成 績 請 求 票 の 種 類
美 術 学 部	後 期 日 程	後 期 日 程 用
音 楽 学 部	後 期 日 程	後 期 日 程 用

7 出願・受験上の諸注意

- (1) 本学の試験は「後期日程」で実施します。他の「後期日程」の大学・学部への出願はできません。
- (2) 前期日程試験に合格し、その入学手続きを行った者は、本学を受験しても合格者とはなりません。

また、国公立大学・学部（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施する大学学部の定める推薦入学辞退手続により辞退を許可された場合を除いて、本学の入学試験を受験しても入学許可は得られませんので注意してください。

- (3) 出願後の志望学部・専攻（コース）の変更は認めません。
- (4) 出願書類に不備、記載もれがあるときは受理しません。
- (5) 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。
- (6) 試験の当日、本学受験票及び大学入試センター試験受験票を必ず持参してください。

私費外国人留学生は、大学入試センター試験受験票の代わりに「日本留学試験」の受験票を持参してください。

なお、受験票を忘れた者は、試験場に入れない場合もありますので注意してください。

(7) 平成 23 年 2 月 14 日(月)までに本学受験票が到着しない場合は、学務課に照会してください。

(8) 出願後、連絡先を変更したいときは、速やかに学務課まで書面（連絡先住所にふりがなをつけてください。）で届け出てください。

(9) 出願に際しての照会は、学務課まで電話又は郵便でしてください。

ただし、郵便での照会には、必ず返信用封筒（連絡先住所、氏名、郵便番号を明記し、返信用切手 80 円分を貼ってください。）を同封してください。

8 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、障がい等を有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

(1) 申し出の時期

平成 22 年 12 月 10 日(金)まで

(2) 申し出の方法

次の事項を記載し、学務課まで申し出てください。

①志望学部・専攻 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項

④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項

なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。

(3) 相談の時期

平成 23 年 1 月 14 日(金)まで

(4) 相談の方法

相談申請書に医師の診断書（身体障害者手帳を有する者はその写し）、担当教員等の所見書（高等学校での学習状況・生活状況を記載）を添えて出身高等学校を通じて提出してください。

必要に応じ、本学において志願者との面談等を行います。

(5) その他

重度難聴者で、大学入試センター試験の英語のリスニングテストを免除された者については、筆記試験（英語 200 点満点）の成績をそのまま利用します。

9 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯 1-114（〒480-1194）

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 学務課

電話 0561-62-1180（代表）（照会時間午前 9 時から午後 5 時まで）

ただし、土・日曜日、祝祭日等大学事務局が休業となる日は除きます。

10 入 学 試 験

(1) 選 抜 方 法

本学の入学試験は、大学入試センター試験、個別学力検査（専攻別実技試験等）及び出身学校長の調査書により総合的に判定します。

なお、本学においては、「大学入試センター試験の前年度成績」は利用しません。

（ 私費外国人留学生の場合は、大学入試センター試験の代わりに「日本留学試験」の成績を用います。 ）

(2) 平成 23 年度入学選抜の実施教科・科目等（美術学部）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成22年度〕 志願倍率		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験の利用方法	特別の選 抜方法等
			教科	科目名等	教科等	科目名等		
美術学部 [10.7] 95人 後期 82 その他 13	美術科 日本画専攻 10人	後期 3月14日 3月18日 3月19日	国 数 外	国語 1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 英、独、仏、中、韓 から1科目	から2 選択	その他	実技検査	大学入試センター試験の選択科目は、4教科以上又は3教科4科目以上を受験した場合、国・数及び外の3教科から得点の高いもの2教科2科目、地歴・公民及び理の3教科から得点の高いもの1教科1科目の合計3教科3科目を選んで入学選抜に用いる。 なお、数・地歴・公民及び理の得点については、国・外の2教科と同一の200点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験とリスニングテストの合計得点を200点満点（小数点以下四捨五入）に換算して利用する。
			地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目				
				【3教科3科目】				
	美術科 油画専攻 25人	後期 3月12日 3月18日 3月19日	国 数 外	国語 1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 英、独、仏、中、韓 から1科目	から2 選択	その他	実技検査	大学入試センター試験の選択科目は、4教科以上又は3教科4科目以上を受験した場合、国・数及び外の3教科から得点の高いもの2教科2科目、地歴・公民及び理の3教科から得点の高いもの1教科1科目の合計3教科3科目を選んで入学選抜に用いる。 なお、数・地歴・公民及び理の得点については、国・外の2教科と同一の200点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験とリスニングテストの合計得点を200点満点（小数点以下四捨五入）に換算して利用する。
			地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目				
				【3教科3科目】				
	美術科 彫刻専攻 10人	後期 3月14日 3月18日 3月19日	国 数 外	国語 1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 英、独、仏、中、韓 から1科目	から2 選択	その他	実技検査 面接	大学入試センター試験の選択科目は、4教科以上又は3教科4科目以上を受験した場合、国・数及び外の3教科から得点の高いもの2教科2科目、地歴・公民及び理の3教科から得点の高いもの1教科1科目の合計3教科3科目を選んで入学選抜に用いる。 なお、数・地歴・公民及び理の得点については、国・外の2教科と同一の200点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験とリスニングテストの合計得点を200点満点（小数点以下四捨五入）に換算して利用する。
			地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目				
				【3教科3科目】				
	美術科 芸術学専攻 5人	後期 3月12日 3月18日	国 数 外	国語 1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 英、独、仏、中、韓 から1科目	から2 選択	外 地歴	英語 地理歴史（日本 史B、世界史Bか ら1科目選択） その他 実技検査 面接 小論文	大学入試センター試験の選択科目は、4教科以上又は3教科4科目以上を受験した場合、国・数及び外の3教科から得点の高いもの2教科2科目、地歴・公民及び理の3教科から得点の高いもの1教科1科目の合計3教科3科目を選んで入学選抜に用いる。 なお、数・地歴・公民及び理の得点については、国・外の2教科と同一の200点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験とリスニングテストの合計得点を200点満点（小数点以下四捨五入）に換算して利用する。
			地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目				
				【3教科3科目】				
	デザイン・工芸科 デザイン専攻 35人	後期 3月18日 3月19日	国 数 外	国語 1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 英、独、仏、中、韓 から1科目	から2 選択	その他	実技検査	大学入試センター試験の選択科目は、4教科以上又は3教科4科目以上を受験した場合、国・数及び外の3教科から得点の高いもの2教科2科目、地歴・公民及び理の3教科から得点の高いもの1教科1科目の合計3教科3科目を選んで入学選抜に用いる。 なお、数・地歴・公民及び理の得点については、国・外の2教科と同一の200点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験とリスニングテストの合計得点を200点満点（小数点以下四捨五入）に換算して利用する。
			地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目				
	デザイン・工芸科 陶磁専攻 10人	後期 3月13日 3月14日 3月15日	国 数 外	国語 1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 英、独、仏、中、韓 から1科目	から2 選択	その他	実技検査	大学入試センター試験の選択科目は、4教科以上又は3教科4科目以上を受験した場合、国・数及び外の3教科から得点の高いもの2教科2科目、地歴・公民及び理の3教科から得点の高いもの1教科1科目の合計3教科3科目を選んで入学選抜に用いる。 なお、数・地歴・公民及び理の得点については、国・外の2教科と同一の200点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験とリスニングテストの合計得点を200点満点（小数点以下四捨五入）に換算して利用する。
			地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目				
				【3教科3科目】				

(注) 定められた教科・科目を受験していない者には、個別学力検査の受験を認めませんので、十分注意してください。

(3) 平成 23 年度入学者選抜の実施教科・科目等（音楽学部）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成22年度〕 志願倍率		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験の利用方法	特別の選 抜方法等
					教科等	科目名等		
音楽学部 〔3.2〕 後期 100人	音楽科 作曲専攻 （作曲） 8人	後期 3月 9日 10日 11日 13日	外国 地歴 公民 数理	英、独、仏 から1科目を必須とする。 国語 1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目 【2教科2科目】	その他	実技検査	大学入試センター試験の選択科目は、2教科2科目以上を受験した場合、得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、国語については、100点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験を180点満点に換算した点と、リスニングテストを20点満点に換算した点の合計を200点満点として利用する。	推薦 追加合格
	音楽科 作曲専攻 （音楽学） 2人	後期 3月11日 13日	外国 地歴 公民 数理	英、独、仏 から1科目を必須とする。 国語 1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目 【2教科2科目】	外 その他	外国語（英、独、仏） から1科目選択 実技検査 論述試験 口述試験	大学入試センター試験の選択科目は、2教科2科目以上を受験した場合、得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、国語については、100点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験を180点満点に換算した点と、リスニングテストを20点満点に換算した点の合計を200点満点として利用する。	推薦 追加合格
	音楽科 声楽専攻 30人	後期 3月10日 11日 13日	外国 地歴 公民 数理	英、独、仏 から1科目を必須とする。 国語 1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目 【2教科2科目】	その他	実技検査	大学入試センター試験の選択科目は、2教科2科目以上を受験した場合、得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、国語については、100点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験を180点満点に換算した点と、リスニングテストを20点満点に換算した点の合計を200点満点として利用する。	推薦 追加合格
	音楽科 器楽専攻 （ピアノ） 25人	後期 3月 7日 8日 10日 11日 13日	外国 地歴 公民 数理	英、独、仏 から1科目を必須とする。 国語 1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目 【2教科2科目】	その他	実技検査	大学入試センター試験の選択科目は、2教科2科目以上を受験した場合、得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、国語については、100点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験を180点満点に換算した点と、リスニングテストを20点満点に換算した点の合計を200点満点として利用する。	追加合格
	音楽科 器楽専攻 （弦楽器） 15人	後期 3月10日 11日 13日	外国 地歴 公民 数理	英、独、仏 から1科目を必須とする。 国語 1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目 【2教科2科目】	その他	実技検査	大学入試センター試験の選択科目は、2教科2科目以上を受験した場合、得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、国語については、100点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験を180点満点に換算した点と、リスニングテストを20点満点に換算した点の合計を200点満点として利用する。	推薦 追加合格
	音楽科 器楽専攻 （管打楽器） 20人	後期 3月 9日 11日 13日	外国 地歴 公民 数理	英、独、仏 から1科目を必須とする。 国語 1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1科目 現社、倫、政・経 から1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1科目 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ から1科目 【2教科2科目】	その他	実技検査	大学入試センター試験の選択科目は、2教科2科目以上を受験した場合、得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、国語については、100点満点として換算する。ただし、英語については筆記試験を180点満点に換算した点と、リスニングテストを20点満点に換算した点の合計を200点満点として利用する。	推薦

(注) 定められた教科・科目を受験していない者には、個別学力検査の受験を認めませんので、十分注意してください。

(4) 個別学力検査（専攻別実技試験等）

	期 日	試験場	試験日程及び試験科目
美術学部	平成23年3月12日（土）から 3月19日（土）まで	本 学	別掲日程表のとおりです。
音楽学部	平成23年3月7日（月）から 3月13日（日）まで	本 学	別掲日程表のとおりです。 課題曲は別冊を参照ください。

11 合 格 発 表

(1) 日時及び場所

日 時	美術学部	平成23年3月22日（火）	午前11時
	音楽学部	平成23年3月22日（火）	午前11時
場 所	本 学	管理棟で掲示します。	

※ 合格者には、入学許可通知書及び入学手続要領を郵送します。

注1) 電話等による問い合わせには一切応じられませんので注意してください。

注2) 本学ホームページにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが、入学許可通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

(2) 追加合格

合格発表の後、定員に欠員が生じた場合は、3月28日（月）に該当者に電話で連絡します。ただし、電話に出ない場合は辞退したものとみなします。

(3) その他

国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名・受験番号・合否及び入学手続等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学への情報提供に利用します。

12 入 学 手 続

(1) 手続日

美術学部	平成23年3月27日（日）	午前9時30分～午後4時
音楽学部	平成23年3月27日（日）	午前9時30分～午後4時

(2) 場 所

本学管理棟3階

(3) 納入金

ア 入学料 282,000 円

イ 授業料（前期分） 267,900 円

（平成23年4月1日付で出願時の住所に授業料振込依頼書を送付します。）

（入学料及び授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。

平成23年度入学料及び授業料は、改定されることがあります。）

*その他入学時に要する経費がありますが、金額・納入方法については合格者に別途連絡します。

*参考までに、美術学部入学者には前記納入金以外に次のような経費が必要となります。

○同窓会費 20,000 円

○卒業・修了作品集 17,000 円

専攻	金額	内訳
日本画専攻	340,000 円	古美術研究旅行費 120,000 円 日本画材料及び諸道具代 220,000 円
油画専攻	110,000 円	古美術研究旅行費 70,000 円 材料研究費 40,000 円
彫刻専攻	420,000 円	古美術研究旅行費 100,000 円 教材費 320,000 円
芸術学専攻	150,000 円	古美術研究旅行費 100,000 円 研究雑誌作成費 50,000 円
陶磁専攻	300,000 円	研修旅行費 240,000 円 道具代 60,000 円

(4) 入学料振込にあたってのお願い

- ・合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料を納入し、所定の提出書類及び入学料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続きをしてください。
- ・入学料の納入は、**金融機関の窓口**から行ってください。ATMからは入金しないでください。
- ・振込金依頼書の「**ご依頼人**」欄は**受験生本人の氏名**を記入してください。

(5) 入学手続きの諸注意

- ・入学手続きには、**大学入試センター試験受験票を必ず持参**してください。(確認後返却します。)
- ・この手続きを完了しない場合は、**入学を辞退**したものとして取り扱います。
- ・その他入学手続きの詳細については、合格者に別途通知します。
- ・一つの国公立大学・学部（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に入学手続きを完了した者は、それ以降これを辞退して他の国公立大学・学部に入學手続きをすることができません。

また、国公立大学・学部の推薦入試合格者については、その大学の定める手続きにより、推薦入学の辞退を認められた者でなければ、本学の入学手続きをすることができません。

美術学部個別学力検査（専攻別実技試験等）日程表

試験日程及び試験科目

専攻別実技試験等は、次の表のとおりです。

学科	美術科				デザイン・工芸科	
専攻	日本画	油画	彫刻	芸術学	デザイン	陶磁
日程 年月日	後期					
平成23年 3月12日 (土)		第1次試験 素描（静物） 10:00～17:00 木炭又は鉛筆 （併用可） 試験用紙（画用紙・木炭紙）を 配布時に選択		第1次試験 英語 10:30～12:00 地理歴史 （日本史 B、世界史 B から1科目 選択） 13:00～14:30		
3月13日 (日)						描写 9:00～16:00
3月14日 (月)	第1次試験 石膏素描 9:00～16:00		第1次試験 石膏素描 9:00～16:00 木炭又は鉛筆 （併用可） 試験用紙（画用紙・木炭紙）を 配布時に選択			感覚表現 平面 10:00～16:00
3月15日 (火)						感覚表現 立体 10:00～16:00
3月17日 (木)	第1次合格発表 11:00					
3月18日 (金)	第2次試験 水彩画 10:00～15:00	第2次試験 油画（キャンバス）又は水彩画 （紙張りパネル） 10:00～15:00 ※アクリル絵具 使用可	第2次試験 塑造 10:00～16:00	第2次試験 小論文 10:30～12:00 石膏（首像又は 胸像）素描（鉛筆） 13:00～16:00 面接 16:30～	描写 10:00～15:00	
3月19日 (土)			塑造 9:30～12:30 面接 13:30～16:00		色彩構成 9:00～13:00 立体構成 14:00～18:00	
3月22日 (火)	合格発表 11:00					

持参する試験用具

学科 専攻	美術科				デザイン・工芸科	
	日本画	油画	彫刻	芸術学	デザイン	陶磁
持参する 試験用具 等	第1次試験 鉛筆、消しゴム、 ナイフ、 ボールペン	第1次試験 木炭、鉛筆、 消し具 下敷用紙(白紙)、 フィクサティブ (定着液)	第1次試験 木炭、鉛筆、 消し具 下敷用紙(白紙)、 フィクサティブ (定着液)	第1次試験 筆記用具	描写 描写用具一式 色彩・立体構成 鉛筆、消しゴム、 製図用具、 ポスターカラー 等水性絵の具、 彩色用具一式、 はさみ、 カッターナイフ	描写 鉛筆、消しゴム、 ナイフ、 ボールペン 感覚表現 平面 鉛筆、消しゴム、 ナイフ、 ボールペン、 水彩用具一式 感覚表現 立体 鉛筆、消しゴム、 ナイフ、 ボールペン、 粘土制作に適し た服装、手拭 (塑造台・板、 粘土、へらは用 意してある)
	第2次試験 水彩画用具一式、 鉛筆、消しゴム、 ナイフ、 ボールペン	第2次試験 油彩用具一式 (第1次試験時 に水彩画を希望 をした者は水彩 用具一式) ※アクリル系描 画用具も可。	第2次試験 鉛筆、消し具、 粘土制作に適し た服装 (塑造用具等は 用意してある)	第2次試験 鉛筆、消しゴム、 ナイフ、 筆記用具 (測り棒、デス ケル可)		

注 (1) 昼食時間について

試験が午前と午後にわたるときは、正午から午後1時までを昼食時間とします。

なお、特別の指示がない限り、この時間内の制作はできません。ただし、デザイン専攻(3月19日)については、午後1時から午後2時までを昼食時間とします。

(2) 所定用紙等について

試験で使用する用紙は、**大学所定の用紙**とします。その他の用紙を使用した場合は、その試験を無効とします。

なお、イーゼル、カルトン、画板、キャンバス、用紙は大学側で用意します。

(3) 「受験心得」について

試験場の詳細な案内図は、当日会場に図示するほか、受験票送付時に同封する「受験心得」の中に記載しますので、事前に確認しておいてください。

(4) 集合時間について

試験当日は、試験開始時刻の40分前までに、当日、会場の掲示にて発表する指定場所に必ず集合してください。(ただし、油画専攻の第1次試験受験者は、試験開始時刻の1時間前までに集合してください。)

(5) 遅刻の取り扱いについて

試験開始後1時間以上遅刻した者は、原則として当日の受験は認めません。

(やむを得ない理由で遅刻をした者は、係員に申し出てその指示に従ってください。ただし、試験時間の延長はしません。)

(6) 複数日にわたる試験の取り扱いについて

油画、彫刻及びデザイン専攻は2日間共に受験しないと、合否判定の対象になりません。

陶磁専攻は3日間共に受験しないと、合否判定の対象になりません。

(7) 第2次試験について

第2次試験を受けることができる者は、第1次試験合格者に限ります。

(8) 第1次合格発表の場所及び時刻について

本学 管理棟で午前11時に掲示します。

注1) 電話等による問い合わせには一切応じられないので注意してください。

注2) 本学ホームページにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが、本学管理棟の掲示をもって正式な発表としますので、ご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

(9) 試験当日、受験者の付添人等の大学構内への立入は禁止します。

音楽学部個別学力検査（専攻別実技試験等）日程表

試験日程及び試験科目

専攻別実技試験等は、次の表のとおりです。

専攻 (コース)		作 曲		声 楽	器 楽		
		作 曲	音 楽 学		ピ ア ノ	弦 楽 器	管 打 楽 器
年月日	日程	後 期					
平成23年 3月7日 (月)	専 攻 別 実 技 試 験				第1次試験 課 題 曲		
3月8日 (火)					第1次試験 課 題 曲		
3月9日 (水)		第1次試験 (1) 和声課題 13:00~16:00			第1次合格発表 11:00		第1次試験＊ 課 題 曲 木管楽器 金管楽器 打楽器
3月10日 (木)		(2) 器楽曲作曲 9:30~15:30 (ピアノ使用可)		第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 コールユーブンゲン	第2次試験 課 題 曲	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 〔ヴァイオリン〕 〔ヴィオラ〕	第1次合格発表 11:00
3月11日 (金)		(3) 前出(1)(2) に関する解説 10:00~	第1次試験 音楽に関する 基礎的試験 論述 10:00~12:00 外国語(英、独、 仏から1科目) 13:30~14:30 口述 15:30~	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 コールユーブンゲン	第2次試験 課 題 曲	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 〔チェロ〕 〔コントラバス〕 〔ハープ〕	第2次試験＊ 課 題 曲
3月12日 (土)		第1次合格発表 11:00	第1次合格発表 11:00	第1次合格発表 11:00	第2次合格発表 11:00	第1次合格発表 11:00	第2次合格発表 11:00
3月13日 (日)	副 科 試 験	聴音・新曲視唱 副科ピアノ	聴音・新曲視唱 副科ピアノ	聴音・新曲視唱 副科ピアノ 楽典	聴音・新曲視唱 楽典	聴音・新曲視唱 副科ピアノ 楽典	聴音・新曲視唱 副科ピアノ 楽典
3月22日(火)		合 格 発 表 11:00					

*管打楽器種類

フルート、オーボエ、クラリネット、バスーン（ファゴット）、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、打楽器

- 注 (1) 試験に関する諸事項は、すべて掲示により発表します。
第1次試験の集合時刻、受験順番等を3月6日(日)午前10時から本学管理棟に掲示しますので、受験者は各専攻(コース)の試験日の前日までに確認してください。

本学ホームページにて3月6日(日)午前10時以降、掲示内容の情報提供をします。
(*下記を参照してください。)

- (2) 受験者は、必ず各自の試験開始時刻の30分前までに集合し、掲示を見てから係員の指示に従ってください。
遅刻した場合は、受験できないことがありますので、特に注意してください。
- (3) 試験場の案内図は、当日会場に掲示します。
- (4) 第2次試験を受けることができる者は、第1次試験合格者に限ります。
- (5) 器楽専攻(弦楽器)のヴァイオリンを受験する者に限り、第2志望としてヴィオラを志望することができます。なお、この場合、実技試験としてのヴィオラ演奏は課しません。
- (6) 第1次、第2次合格発表の場所及び時刻
本学 管理棟で午前11時に掲示します。
試験の集合時刻、受験順番も含め掲示します。
本学ホームページで情報提供を行います。
(*下記を参照してください。)
- (7) 電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。
- (8) 試験当日、受験者の付添人等の大学構内への立入は禁止します。

*** ホームページによる情報提供について**

ホームページによる情報の提供は、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが、学内掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

この情報提供は、学内掲示による発表の概ね30分後から利用することができます。
本情報提供の「誤作動」や「情報の読み違い」等を理由とした試験等の遅延は認めません。
アドレス: <http://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

13 入 試 情 報

(1) 平成23年度入試評価基準

① 美術学部

○美術科（日本画専攻、油画専攻、彫刻専攻、芸術学専攻）

<第1次試験>

試験区分 学部・学科・専攻名			試験科目	評価基準
美術学部	美術科	日本画	石膏素描	モチーフの形や質感を正確に観察、把握し、描写表現する能力をみる。（描写力、表現力、空間認識力）
		油画	素描	素描を通して基礎的な描く能力と表現力をみる。
		彫刻	石膏素描	描写力をみる。
		芸術学	英語	読解力、ボキャブラリーの知識、翻訳能力をみる。
			地理歴史	歴史的知識、文章構成力、論理性をみる。

<第2次試験>

試験区分 学部・学科・専攻名			試験科目	評価基準
美術学部	美術科	日本画	水彩画	画面構成力、色彩感覚、描写力、表現力等をみる。
		油画	油画又は水彩画	絵画制作に必要な能力と表現力をみる。
			彫刻	立体造形力、感性をみる。
		芸術学	面接	意欲をみる。
			石膏素描	観察力、描写力をみる。
			小論文	問題考察力、鑑賞力、文章構成力、論理性をみる。
			面接	適性、意欲をみる。

○デザイン・工芸科（デザイン専攻、陶磁専攻）

試験区分 学部・学科・専攻名			試験科目	評価基準
美術学部	デザイン・工芸科	デザイン	描写	モチーフの形や質感を正確に観察、把握し、描写表現する能力をみる。（描写力、技術力、空間認識力等）
			色彩	画面構成力、色彩感覚、造形力等をみる。
			立体	空間認識力、立体感覚、造形力等をみる。
		陶磁	描写	モチーフの形や質感を正確に観察、把握し、描写表現する能力をみる。
			感覚表現平面	モチーフを生かした色彩、構成等を含む造形力をみる。
			感覚表現立体	モチーフの形態、量感、動き等を含む造形力をみる。

② 音楽学部

<第1次試験>

試験区分 学部・学科・専攻（コース）名				試 験 科 目	評 価 基 準
音 楽 学 部	音 楽 科	作 曲	作 曲	和 声	和声に対する感覚・能力をみる。
				器楽曲作曲	種々の作曲法を踏まえつつ、いかに創造的な音楽を生み出す能力を持っているかをみる。
				解説	音楽を理論的・分析的に考え、それを説明する能力をみる。
			音 楽 学	外国語	外国語の文章の的確な読解力をみる。
				音楽に関する基礎的試験	音楽を分析的に洞察する能力をみる。
		声 楽		課題曲 自由曲 コールユーブンゲン	演奏の基礎的能力と表現力をみる。 リズム、音程などの基礎的能力をみる。
		器 楽	ピ ア ノ	課題曲	演奏の基礎的能力と音楽的資質をみる。
			弦 楽 器	課題曲 自由曲	演奏の基礎的能力と表現力及び発展の可能性をみる。
			管打楽器	課題曲	演奏の基礎的能力（音程、音色、リズム等）をみる。

<第2次試験>

試験区分 学部・学科・専攻 (コース) 名				試験科目	評価基準
音楽学部	音楽科	器楽	ピアノ	課題曲	演奏における、より高度な音楽的表現力をみる。
			管打楽器	課題曲	演奏に際しての表現力、創造力に加え、ソルフェージュ等の基礎的能力をみる。

(2) 平成23年度入試判定基準

① 美術学部

○美術科（日本画専攻、油画専攻、彫刻専攻、芸術学専攻）

点数配分

ア 大学入試センター試験受験生

試験区分 学部・学科			第1次選考試験											第2次選考試験				
			大学入試センター試験							個別学力検査第1次				個別学力検査第2次			第1次 選考試 験結果	計
美術学部	学科	専攻名	国語	外国語	数学	地理歴史	公民	理科	小計	実技	英語	地理歴史	計	実技	小論文	面接		
美術学部	美術科	日本画	※ 400			※ 200			600	1,000	—	—	1,600	1,000	—	—	—	1,000
		油画								600	—	—	1,200	1,000	—	—	—	1,000
		彫刻												900	—	100	—	1,000
		芸術学								—	300	300	1,200	200	200	100	1,200	1,700

※印は、選択教科を示す。

○デザイン・工芸科（デザイン専攻、陶磁専攻）

点数配分

ア 大学入試センター試験受験生

試験区分 学部・学科			大学入試センター試験							個 別 学 力 検 査			合計
美術学部	学 科	専攻名	国語	外国語	数学	地理歴史	公民	理科	小計	実 技			
	デザイン・工芸科	デザイン	※ 400			※ 200			600	描写	色彩	立体	2,400
		陶 磁								600	600	600	
			描写	平面	立体	1,800							
										600	300	300	

※印は、選択教科を示す。

○美術科（日本画専攻、油画専攻、彫刻専攻、芸術学専攻）

点数配分

イ 私費外国人留学生

試験区分 学部・学科			第1次選考試験							第2次選考試験				
			日本留学試験			個別学力検査第1次			計	個別学力検査第2次			第1次 選考試 験結果	計
美術学部	学科	専攻名	日本語	総合科目	小計	実技	英語	地理 歴史		実技	小論文	面接		
	美術科	日本画	※ 400	※ 200	600	1,000	—	—	1,600	1,000	—	—	—	1,000
		油画								1,000	—	—	—	1,000
		彫刻				600			1,200	900	—	100	—	1,000
		芸術学				—	300	300	1,200	200	200	100	1,200	1,700

※印は、日本留学試験の内容を大学入試センター試験受験生の成績と比較して総合的に判断する。

○デザイン・工芸科（デザイン専攻、陶磁専攻）

点数配分

イ 私費外国人留学生

試験区分 学部・学科			日 本 留 学 試 験			個 別 学 力 検 査			合計
美術学部	学 科	専攻名	日本語	総合科目	小計	実 技			
	デザイン ・工芸科	デザイン	※ 400	※ 200	600	描写 600	色彩 600	立体 600	2,400
		陶 磁				描写 600	平面 300	立体 300	1,800

※印は、日本留学試験の内容を大学入試センター試験受験生の成績と比較して総合的に判断する。

② 音楽学部

点数配分（最終総合評価）

ア 大学入試センター試験受験生

試験区分 学部・学科			大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験						個 別 学 力 検 査				合計												
			国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	小計	専 攻 別 実技試験	副 科 試 験														
専攻名 (コース)	作曲 作曲専攻	音楽学									*100	200	300	600	100	—	100	1,100							
音楽学部	音楽科	声 楽 専 攻	ピ ア ノ	弦 楽 器	管打楽器	600	100	100	100	1,200															
																			器楽専攻	弦 楽 器	管打楽器	600	100	100	1,200
		器楽専攻	弦 楽 器	管打楽器	600	100	100	1,200																	
									器楽専攻	弦 楽 器									管打楽器	600	100	100	1,200		
		器楽専攻	弦 楽 器	管打楽器	600	100	100	1,200																	
									器楽専攻	弦 楽 器									管打楽器	600	100	100	1,200		
		器楽専攻	弦 楽 器	管打楽器	600	100	100	1,200																	

*印は、選択教科を示す。

イ 私費外国人留学生

試験区分 学部・学科			日 本 留 学 試 験				個 別 学 力 検 査				合計
			日本語	総合科目	数 学 (コース1)	小計	専 攻 別 実技試験	副 科 試 験			
専攻名 (コース)	作曲専攻	作 曲 音 楽 学						声 楽 専 攻	器楽専攻	副 科 ピアノ	楽 典
音 楽 学 部	音楽科		200	*100	300		600	100	—	100	1, 100
						600	100	—	1, 100		
						600	100	100	1, 200		
						600	—	100	1, 100		
						600	100	100	1, 200		
						600	100	100	1, 200		
						600	100	100	1, 200		

*印は、選択教科を示す。

(注) 日本留学試験の内容を大学入試センター試験受験生の成績と比較して総合的に判断する。

- 第1次試験及び第2次試験の可否判定は、専攻別実技試験のそれぞれの成績によって行います。
- 最終可否判定は、専攻別実技試験、副科試験及び大学入試センター試験の点数を合計した総合点により行います。
ただし、器楽専攻（ピアノ、管打楽器）においては、専攻別第1次実技試験の成績は考慮しません。
- 専攻（コース）内における声種並びに楽器の種類により人数上のバランスを考慮することがあります。

(3) 平成 22 年度入試について

① 入学試験実施状況

学 部	学 科	専 攻		募 集 人 員	志 願 者 数	倍 率	受 験 者 数 (初 日)	合 格 者 数	追 加 合 格 者 数	入 学 者 数
美 術 学 部	美 術 科	日 本 画		10	121	12. 1	108	12	0	12 (12)
		油 画		25	286	11. 4	255	26	1	25 (25)
		彫 刻		8	58	7. 3	45	9	1	8 (10)
		芸 術 学		4	15	3. 8	11	7	0	7 (7)
	デザイン ・工芸科	デザイン		25	381	15. 2	289	28	0	27 (37)
		陶 磁		10	43	4. 3	34	11	3	10 (10)
	計			82	904	11. 0	742	93	5	89 (101)
音 楽 学 部	音 楽 科	作曲	作 曲	8	13	1. 6	13	9	0	9 (11)
			音 楽 学	2	3	1. 5	2	1	0	1 (2)
		声 楽		30	56	1. 9	55	30	0	30
		器楽	ピ ア ノ	25	81	3. 2	79	25	1	25
			弦 楽 器	15	23	1. 5	20	13	0	13 (16)
			管打楽器	20	99	5. 0	94	20	0	20 (22)
	計			100	275	2. 8	263	98	1	98 (106)
合 計				182	1179	6. 5	1005	191	6	187 (207)

入学者数の()は、一般入試と特別入試の合計数を示す。

(4) 平成 22 年度入試 試験問題

① 美術学部

専攻	試験区分	試験科目	モチーフ又は配布物	問 題 文
日本画	第 1 次試験	石膏像素描	シーザー	鉛筆デッサン
	第 2 次試験	水彩画	(人物) セーター (アーガイル模様)、ジーンズ、長靴 (えんじ色)。傘 (淡いグリーン) を差して椅子に座る。	人物を着彩しなさい。ただし、背景も着彩すること。

油画	第 1 次試験	素描 鉛筆又は木炭、併用も可 試験用紙 (画用紙、木炭紙) を配布時に選択	綿布 (45×45cm) 1 枚、不織布 (45×45cm) 1 枚	与えられたモチーフを描写しなさい。 補足 ・与えられたモチーフをどのように使ってもかまいません。 ・与えられたモチーフはどちらも画面に入れること。
	第 2 次試験	油画 (キャンバス) 又は水彩画 (紙張りパネル)	合板パネル (91.5×182×1.2cm) 2 枚、 角材 (200×50.8×10.28cm) 1 本	前のモチーフを描きなさい。

彫刻	第 1 次試験	石膏素描 (木炭・鉛筆)	アリアス [配付物] 木炭紙・画用紙、カルトンは準備してあります	デッサン
	第 2 次試験	塑造	風船、毛糸、鏡、箱入りプラモデル、バナナ	・モチーフを自由に構成し、塑造しなさい。 *モチーフは 2 種類以上使うこと。 *与えられた用紙にはアイディアスケッチをしなさい。 *タイトルは必ず書くこと。 質問は、一切受け付けない。

芸術学	第 1 次試験	英語		問題文は掲載しない。
		地理歴史		詳細は別表参照
	第 2 次試験	小論文		詳細は別表参照
		石膏素描	ラボルト [配付物] 画用紙 (木炭紙大)、カルトン (持ち出し不可)	鉛筆で石膏デッサン

(別表)

芸術学専攻 第1次試験：地理歴史問題

日本史 B	問題	問題 1 六世紀から八世紀に至る間の、日本と朝鮮半島との関係について述べなさい。(800字程度) 問題 2 次の歴史上の項目について、各150字程度で説明しなさい。 1. 藤原不比等 2. 縄文土偶 3. 満州事変
世界史 B	問題	問題 1 古代ローマ文明（前六世紀～後五世紀）における政治、社会、文化の発展について概観しなさい。(800字程度) 問題 2 次の歴史上の項目について、各150字程度で説明しなさい。 1. 身分制議会 2. ゲーテ 3. 辛亥（しんがい）革命

芸術学専攻 第2次試験：小論文問題

次の設問Ⅰ、Ⅱについて、それぞれ六〇〇字程度で論じなさい。 Ⅰ 図版 A・B を比較・観察し、それぞれの表現の特徴や違いについて、自由に論述しなさい。 (A) 青木 繁「女の顔」 一九〇四年 油彩 45.5×33.4cm (B) 喜多川 歌麿「青楼七小町 鶴屋内 篠原」 一七九四―一九五年頃 山種美術館蔵 38.1×25.3cm *カラー・コピー配付。 Ⅱ 「見ること」と「描くこと」の関係について、あなたの思うことを自由に述べなさい。	
---	--

デザイン		描写	踏み台、青りんご、白布 [配布物]画用紙 B3:1 枚、画板:1 枚、クリップ:2 個	モチーフを描写しなさい。 ※青りんごの描写は1個とする。 ※青りんごは、画面の自由な位置に配置してよい。
		色彩構成	[配布物]課題用紙:1 枚、ボード:1 枚、草案用紙:3 枚	30cm の正方形に「3 分の 1」を表現しなさい。 ※色数は6色以内とする。(ボードの色は含まない) ※ボードは縦位置とする。
		立体構成	ダンボール (400×400mm 厚み約 5mm):1 枚、ダンボール (400×400mm 厚み約 1.5mm) 2 枚、台紙 ダンボール (300×400mm 厚み約 5mm) 1 枚 (作品の台として使用すること、裁断は不可) [配布物]課題用紙、接着剤、粘着テープ (仮止め用)、草案用紙 2 枚、カッターマット	与えられた材料を使い、魚のイメージを立体で表現しなさい。

陶磁	第 1 次試験	素描	箱イス、布、フリーズ、ひしゃく、石膏立体、ビールジョッキ	与えられたモチーフを描写しなさい。
	第 2 次試験	感覚表現 平面	ネギ 1 本 [配布物]イラストレーションボード、考案紙 3 枚、ナイフ、厚紙	与えられたモチーフを色彩で表現しなさい。 (注意) ・イラストレーションボードは横位置使用 ・色数は自由
		感覚表現 立体	うさぎ、手 [配布物]粘土 7.5kg、粘土板、粘土べら、針金 6 本、麻ひも 5 本、コード釘 10 本、ビニール袋 3 枚、考案紙 3 枚	用意されたモチーフを、粘土を用いて表現しなさい。 (注意) ・粘土は使い切る事 ・心棒は必ず使用する事 ・モチーフのうさぎに触れない事

② 音楽学部

別冊「課題曲」(試験内容及び試験曲)を参照してください。

(5) 入試結果の開示

愛知県個人情報保護条例に基づき、愛知県立芸術大学一般入試の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができます。

① 開示請求できる範囲

- 美術学部（日本画専攻、油画専攻、彫刻専攻、芸術学専攻）
 - ・ 大学入試センター試験の科目別得点（大学が合否判定に用いる教科・科目に限ります。）及びその合計点
 - ・ 個別学力検査の科目別得点及びその合計点
 - ・ 総合得点、※総合ランク及び順位
 - ※ 総合ランク
第1次試験、第2次試験とも A、B、C、D、E の5ランクで開示します。
- 美術学部（デザイン専攻、陶磁専攻）
 - ・ 大学入試センター試験の科目別得点（大学が合否判定に用いる教科・科目に限ります。）及びその合計点
 - ・ 個別学力検査の科目別得点及びその合計点
 - ・ 総合得点、※総合ランク及び順位
 - ※ 総合ランク
A、B、C、D、E の5ランクで開示します。
- 音楽学部
 - ・ 大学入試センター試験の科目別得点（大学が合否判定に用いる教科・科目に限ります。）及びその合計点
 - ・ 個別学力検査の科目別得点
 - ・ 専攻別実技試験のランク
 - ・ 総合得点
 - ・ 総合得点による順位
 - ※ 第1次試験、第2次試験とも A、B、C、D、E の5ランクで開示し、A、B を合格とします。
（注） 声楽専攻については女声・男声別、器楽専攻（弦楽器・管打楽器）については楽器別の総合得点による順位上位者から女声・男声間、楽器間のバランスを考慮しつつ合否の判定をします。

② 開示請求できる期間

平成23年4月18日（月）から1ヶ月間 午前9時から午後5時まで
ただし、土・日曜日、祝祭日等大学事務局が休業となる日は除きます。

③ 開示請求の受付を行う場所

本学管理棟3階管理課

④ 開示の方法

本人部分のみ閲覧

⑤ 開示請求に必要な書類

受験票のほか、学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参してください。

⑥ 開示請求方法

受験者本人が、口頭で管理課に申し出てください。

⑦ その他

電話による問い合わせには応じません。また、郵送による結果の開示は行いません。

◆ 入学検定料、入学料、授業料の免除制度について

・ 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- 3 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問い合わせ期限	平成23年1月11日（火）
---------	---------------

・ 入学料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者
- 3 入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

問い合わせ期限	平成23年3月27日（日）
---------	---------------

・ 授業料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- 3 申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者
- 4 上記1、2、3以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

問い合わせ期限	平成23年3月27日（日）
---------	---------------

◆ 問合せ先 学務部学務課 電話 0561-62-1180（代表） 内線 434

振込にあたってのお願い

- ・振込用紙により、全国の金融機関（普通銀行、信託銀行、商工組合中央金庫、信用金庫、信用組合、労働金庫、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会及び漁業協同組合の各店舗）の窓口で、お振込みください。

ATM（現金自動預払機）は、利用しないでください。

- ・振込手数料は、各自ご負担ください。
- ・郵便局及びコンビニでは、納付できませんのでご了解ください。
- ・この振込用紙は、機械で処理しますので、汚したり、曲げたりしないでください。

また、振込依頼書・受取書・検定料納付証明書は、ミシン線で切り離さないでください。

- ・本人確認法(*)の改正により、平成 19 年 1 月 4 日以降、金融機関の窓口で現金で 10 万円を超える振込を行う場合、本人確認のできる書類（運転免許証、健康保険証など）の提示を求められる場合がありますので、ご注意ください。

(*) 金融機関等による顧客等の本人確認及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律

- ・記入例を参考に振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。
- ・検定料納付証明書は検定料納付証明書貼付欄に貼付けてください。



愛知県立芸術大学
学生募集要項
一般入試

愛知県公立大学法人
愛知県立芸術大学 学務課

〒480-1194
愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-114
電話 0561-62-1180(代表)